

東京オリンピック 2020 やラグビーワールドカップ仕様、原動機付き自転車などでは既におなじみとなっている図柄入りナンバー（ご当地ナンバー）。

2018年10月から交付開始が始まったご当地図柄入りナンバーは「**自動車を走る広告塔にして地域の魅力を全国に発信していこう!**」という取り組みで導入されるもの。各地域、自治体ごとに工夫を凝らしたデザインのナンバーが用意され、ユニークなデザインのものばかりになっています。

下の3つも新たに導入されたご当地ナンバーです。それぞれその都市の代名詞となる物がプレートに描かれています。そのイラストをヒントに3つが日本のどこの都市のナンバープレートなのか教えてください。



《ヒント》

有名な戦国武将の像が中心地に置かれていて、夏の時期には大きなお祭りが開かれる市です。

答え **仙台市**
(伊達正宗、七夕祭)



《ヒント》

プレートの中では楽しそうに踊っていますよね。ここがこの踊りの本場。お祭りの時は夜通し踊っています。

答え **徳島市**
(阿波踊り、藍染め)



《ヒント》

ステンドグラスの窓からはこの街を代表するものが見えていますよね。世界遺産にも登録された街です。

答え **長崎市**
(平和記念像、教会、ハウステンボス)